

〔特集〕9月1日は「防災の日」 災害に備えて、わが家でできること。地域でできること。

地域

地域やまちを守るため、自主防災組織に加入して地域防災に協力し、いざというときに適切な行動ができるよう、日ごろから地域の防災訓練や研修会に積極的に参加しましょう。



▲美松台地区の防災運動会(バケツリレー)

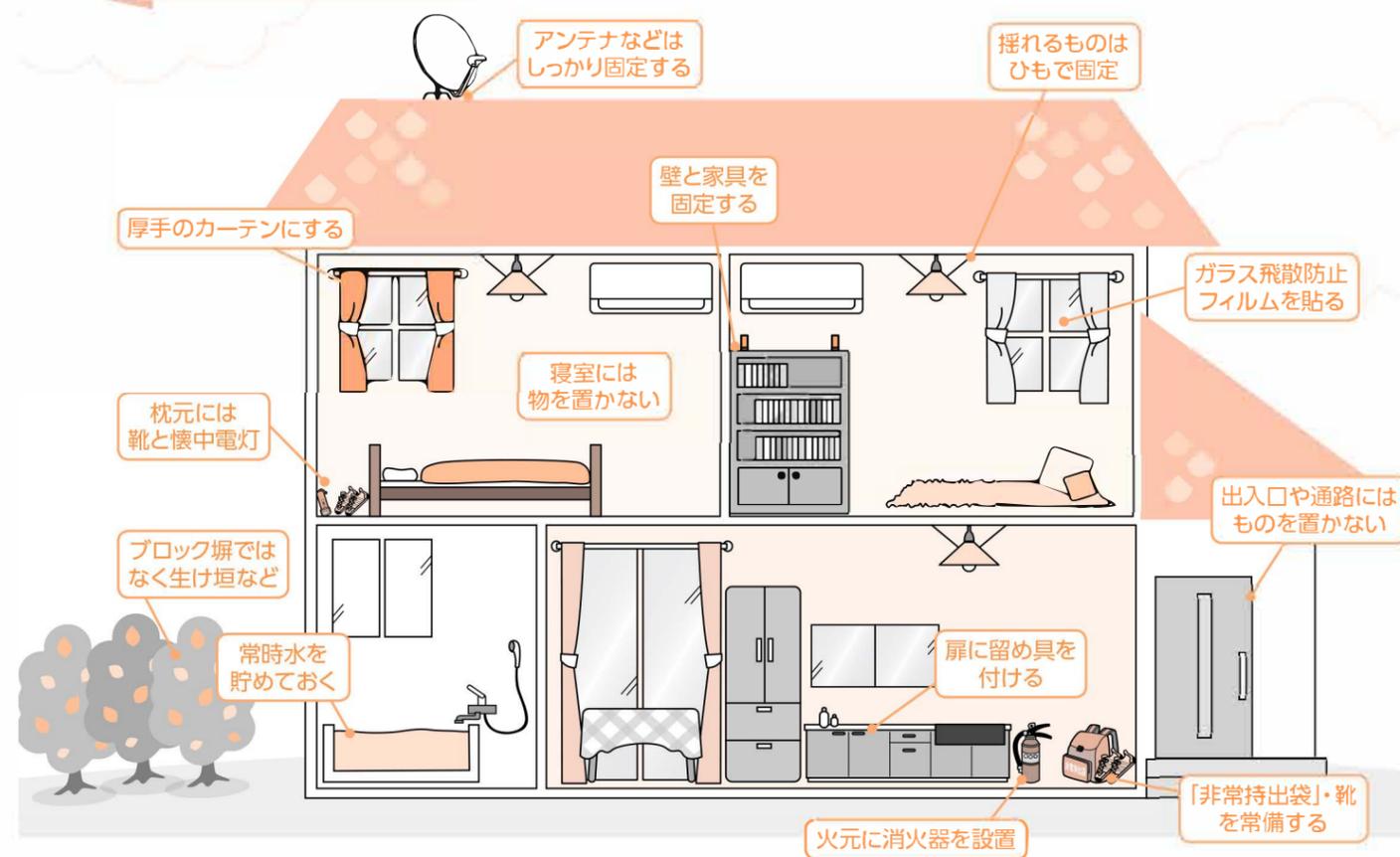
家庭

大地震や風水害など、大規模な災害から自分たちの身を守るためには、一人一人が災害に備える「自助」、地域で協力して災害に備える「共助」が重要です。普段から災害に備え、家庭や地域で防災について取り組みましょう。

災害時の情報収集の仕方や連絡サービスの利用方法をおさらい

<p>登録無料 しらしがメール</p> <p>滋賀県内の防災・防犯などの身の回りの危険に関する情報を電子メールで配信されます。</p> <p>主な配信内容■避難情報、河川水位情報、雨量情報、土砂災害警戒情報、気象警報・注意情報、地震情報、けいたくん防犯情報など</p>	<p>登録無料 竜王安心ほっとメール</p> <p>町内の防災・防犯・交通安全などの身の回りの危険に関する情報を電子メールで配信されます。</p> <p>主な配信内容■避難情報、気象情報、地震情報、土砂災害警戒情報、国民保護情報、交通事故多発情報、不審者情報、犯罪多発情報など</p>	<p>申込不要 受信無料 エリアメール(緊急速報メール)</p> <p>地震発生時や災害時に竜王町内におられるNTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイルの携帯電話をお持ちの人に対して、回線の混雑の影響を受けずに一斉に緊急災害情報が配信されます。</p>
<p>全国瞬時警報システム(Jアラート)自動起動装置</p> <p>内閣官房からの国民保護情報や気象庁からの地震速報、気象警報などをJアラート受信機により受信し、有線放送や携帯電話のエリアメールに接続している自動起動装置によってその情報が町内へ一斉放送・メール配信されます。</p>		<p>各自治会から</p> <p>被災状況、避難準備・誘導、避難所開設などの情報が、町から各区長を通じて町民の皆さんへ連絡されます。</p>
<p>テレビ・ラジオ・新聞・インターネットなど</p> <p>状況に応じて使えるメディア情報を選んで情報収集をします。</p>	<p>町広報車や消防車両・有線放送から</p> <p>避難誘導案内や災害状況などがアナウンスされます。</p>	

「家の中」の安全対策



information

日野川の避難勧告などにかかる水位設定が見直されました

「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」(国)が改訂され、避難勧告などの発令判断の目安が「避難判断水位」から「氾濫危険水位」に変更となり、避難判断水位では避難準備情報の目安となりました。今回の見直しは、現実に即した水位となるよう変更されたもので、より切迫した段階での避難情報の発令となります。

日野川安吉橋観測所地点(見直し後)

水防団待機水位1.80m	⇒ 1.80m	※変更なし
氾濫注意水位3.00m (避難準備情報発令)	⇒ 2.70m	
避難判断水位3.75m (避難勧告等発令)	⇒ 3.40m	(避難準備情報発令)
氾濫危険水位5.00m	⇒ 4.10m	(避難勧告等発令)

避難場所や避難経路を確認

自治会または町で指定されている避難場所がどこにあるかを確認し、安全に移動できる経路を普段から確認しておきましょう。



地震のとき…ブロック塀や積み上げた木材、崩れやすい崖など、余震で崩れる危険のある場所
風水害のとき…側溝にふたやガードレールがなく、増水時にどこまでが道路か分からなくなる場所

非常用の持出品をチェック

各家庭で「非常持出袋」を用意し、避難するのに必要なものや避難所で必要なものをまとめて目の付きやすい所に置いておきましょう。

飲料水、非常食、身分証明書、現金、懐中電灯、ラジオ、乾電池、救急セット、ティッシュ、雨具、手袋、タオル、おむつなど



※イラストは持ち出し品の一例です。